

通研共同プロジェクト(2010年度) 「小電力無線通信方式」研究会

講演題目「誤り制御技術の基礎と応用」

講師：久保田 周治教授(芝浦工業大学)



日時：7月2日(金) 15:30～17:00

場所：東北大学電気通信研究所

ナノスピン研究棟4F カンファレンスルーム

講演概要

誤り制御技術は、移動通信、無線LAN・PAN、衛星通信・放送など、様々な分野で必要不可欠な技術となっている。伝送路誤りに対応する誤り制御技術には、自動再送制御(ARQ: Automatic Repeat Request)と誤り訂正符号(FEC: Forward Error Correction)、これらを組み合わせるハイブリッドARQが広く用いられている。また、誤り訂正符号にはブロック符号と畳込み符号ならびにこれらの組合せである接続符号などがある。本講演では、これらの誤り制御技術の基礎と近年のデジタル無線通信において極めて重要となっている畳込み符号化ビタビ復号技術をはじめとする各種誤り訂正方式の基礎と応用について概説する。

講演者略歴

- 1980年 電気通信大学卒、日本電信電話公社(現NTT)入社
以来、衛星通信、パーソナル通信、無線LAN、無線アクセス方式、次世代無線通信方式の研究開発に従事
- 1986年 SST(Scarce State Transition)型Viterbi復号器で論文賞受賞(電子情報通信学会)
- 1991年 カリフォルニア大デービス校 客員研究員
- 2006年 NTT未来ねっと研究所ワイヤレスシステムイノベーション研究部長

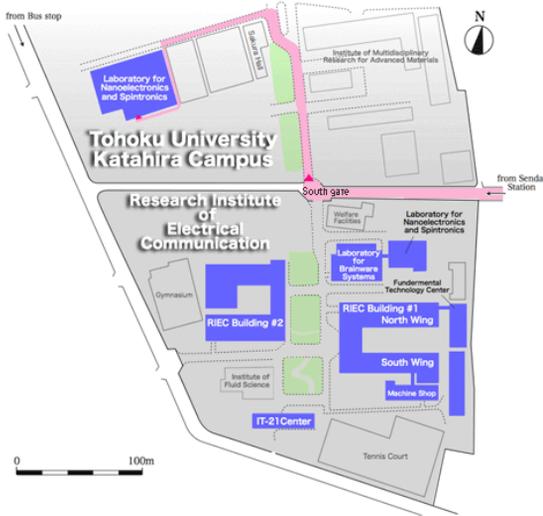
この間、開発したViterbi復号器LSIが世界市場シェア1/2を占める等”たたみ込み符号-Viterbi復号LSI”の世界的パイオニアとして活躍し、衛星通信装置用LSI、PHS 端末用ベースバンドLSI等の実用無線通信LSIの研究開発に大きく貢献

2008年より 芝浦工業大学工学部通信工学科教授(現職)

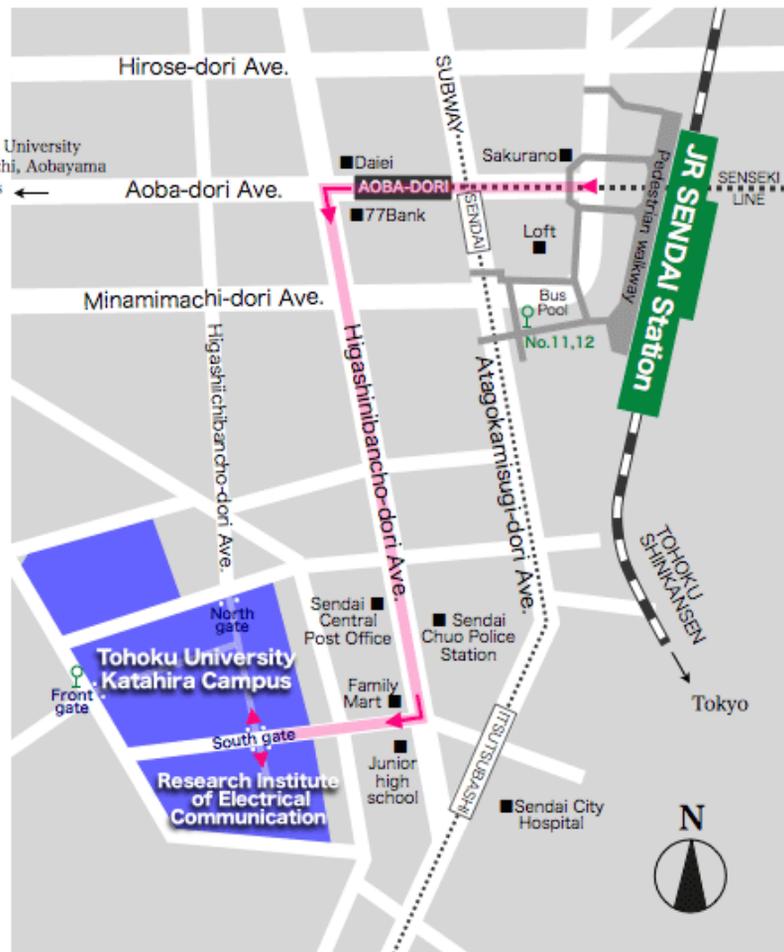
博士(工学)、電子情報通信学会フェロー

コンタクト：庄子友佳子(Tel: 022-217-5477, E-mail: yukako.shoji@riec.tohoku.ac.jp)
(参加希望者は7月1日までに上記Emailに連絡くださるようお願いいたします)

Access & MAP



Campus map



Access

■徒歩

仙台駅より約20分

■仙台市営バス

仙台駅西口11番バス乗り場より

霊屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目行

霊屋橋・動物公園・日赤病院経由八木山南団地行

仙台駅西口12番バス乗り場より

霊屋橋・動物公園・西の平経由長町南駅・長町(営)行
に乗車

東北大正門前下車，徒歩5分

■宮城交通バス

仙台駅西口12番バス乗り場より

動物公園松が丘経由長町駅東口行きに乗車

東北大正門前下車，徒歩5分

■地下鉄

仙台駅より富沢行きに乗車

五橋駅下車，北2番出口より徒歩5分

■タクシー

東北大学片平キャンパス南門前まで約5分

Sponsors



Contact

幹事: 庄子友佳子(東北大学電気通信研究所)

Tel:022-217-5477 / FAX:022-217-5476

E-mail: yukako.shoji@riec.tohoku.ac.jp



RIEC

Research Institute of Electrical Communications
Tohoku University

<http://www.riec.tohoku.ac.jp/index-e.shtml>